

感染防止安全計画 (様式1) (2022.9.8版)

1. 開催概要

※「感染防止策チェックリスト」の開催概要の添付でも可

イベント名	龍勢祭		
出演者・チーム等	棕神社、龍勢保存会（17流派）		
開催日時	令和4年10月9日（日）（8時40分～13時30分予定）		
開催会場	棕神社周辺		
会場所在地	秩父市下吉田7377番地付近		
主催者	本計画作成：龍勢祭対策本部（実行委員会） （事務局：秩父市吉田総合支所地域振興課）		
所在地	事務局住所：秩父市下吉田6585番地2		
責任者氏名	龍勢祭対策本部（実行委員会）本部長（秩父市長）北堀篤		
連絡先	電話 0494-72-6083 メールアドレス ys-chiiki@city.chichibu.lg.jp		
収容率（上限） いずれかを 選択	大声なしで開催		
	<input type="checkbox"/>	①収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/>
	「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催		
	<input type="checkbox"/>	③収容定員あり 大声なしのエリア：100% 大声ありのエリア：50%	<input type="checkbox"/>
収容定員	_____人	---	
参加人数	_____約50,000人_____		
その他特記事項	龍勢祭の関係機関とその機関の担当する諸事業及び任務により、諸対策を実施している。 事業ごとに主催者が異なるため、龍勢祭対策本部（実行委員会）で本計画書を作成。		

※大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」とする。

※収容率（上限）において、③を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

2. 具体的な対策

※対策を取られる項目にチェックを入れた上で、具体的な対策をお書きください

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

① 飛沫感染対策

<チェック項目>

- 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保

（「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、）

- 大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保
- 大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇨ マスクを着用しない者や大声を出す者（大声なしの場合）に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
 - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客（大声なしの場合）の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）
 - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
 - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底
- ⇨ 入場ゲートの増設、開場時間の前倒し、時間差・分散退場の実施、密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導
- ⇨ 密になりやすい場所での二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状況の把握・管理、マーキング、誘導員等の配置による誘導

（「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、）

- ⇨ チケット販売時等におけるエリア区分に関する周知・徹底
 - イベントごとの声出し応援のルール等の周知・徹底
 - 座席指定などエリアごとにチケットを分けて販売
- ⇨ 主催者及び出演者等からのアナウンスや警備員の配置等による、大声なしエリアにおける応援自粛の呼びかけ、及び大声を出す者がいた場合の個別注意や退場の徹底

具体的な対策をお書きください

龍勢

- 適切なマスクの着用など感染症対策及び熱中症対策を実施する
【人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は不要】※厚労省HPから
- 各流派に、予備の使い捨ての不織布マスクを常備する
- 龍勢保存会が指示を行い、龍勢打ち上げ従事者専用の待機場所を確保し、対面との会話を控え十分な距離をとるように促す。

観光客

- HP や掲示物でマスクの着用を周知する。また、スタッフが巡回して個別に注意する
- HP や掲示物で大声を出さないことを周知する。また、スタッフが巡回して応じない方に個別に注意する
- HP や掲示物で熱中症予防及び十分な水分補給などの健康管理を周知する
- HP や祭会場主要入口等（仮設トイレ含）で、ソーシャルディスタンス確保の事前周知や、チラシ配布、掲示及び注意喚起を行う。
- 警備員を配置し、一方通行区間を設け、滞留しないように誘導する。
- 観覧席（有料栈敷席、無料一般栈敷席）は設置しないこととし、来訪者の滞在時間の短縮を図る。
- HP やチラシにより、祭り当日はライブ映像配信を行う旨を周知し、自宅等での観覧による協力をお願いする。

②エアロゾル感染対策

<チェック項目>

- 機械換気による常時換気又は窓開け換気
 - 必要な換気量（一人当たり換気量 30 m³/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね 1,000ppm 以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）
 - 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け
 - 機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は 40-70%
 - 屋外開催は除く
- 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
- イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

⇒各施設の設備に応じた換気

- 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気
- 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施
- 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス

⇒マスクの着用及び距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

具体的な対策をお書きください

龍勢

- 適切なマスクの着用など感染症対策及び熱中症対策を実施する
【人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は不要】※厚労省HPから
- 各流派に、予備の使い捨ての不織布マスクを常備する
- 龍勢保存会が指示を行い、龍勢打ち上げ従事者専用の待機場所を確保し、対面との会話を控え十分な距離をとるように促す。

観光客

- HP や掲示物でマスクの着用を周知する。また、スタッフが巡回して個別に注意する
- HP や掲示物で大声を出さないことを周知する。また、スタッフが巡回して応じない方に個別に注意する
- HP や掲示物で熱中症予防及び十分な水分補給などの健康管理を周知する
- HP や祭会場主要入口等（仮設トイレ含）で、ソーシャルディスタンス確保の事前周知や、チラシ配布、掲示及び注意喚起を行う。
- 警備員を配置し、一方通行区間を設け、滞留しないように誘導する。
- 観覧席（有料栈敷席、無料一般栈敷席）は設置しないこととし、来訪者の滞在時間の短縮を図る。
- HP やチラシにより、祭り当日はライブ映像配信を行う旨を周知し、自宅等での観覧による協力をお願いする。

③接触感染対策

<チェック項目>

- ☑ イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒具体的な手洗場、アルコール等の手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- ⇒アナウンス等による手洗・手指消毒の呼びかけ
- ⇒距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

具体的な対策をお書きください

龍勢

- 龍勢保存会が中心となり指示を行い、手洗や手指消毒を徹底する
- 龍勢保存会が指示を行い、龍勢打ち上げ従事者専用の待機場所を確保し、対面との会話を控え十分な距離をとるように促す。

観光客

- HP や掲示物で手洗や手指消毒を周知する
- 祭会場内及び主要入口に注意喚起チラシ配布、手指消毒場所を設置する
- 公衆トイレに手指消毒液を備える
- HP や祭会場主要入口等（仮設トイレ含）で、ソーシャルディスタンス確保の事前周知や、チラシ配布、掲示及び注意喚起を行う。
- 警備員を配置し、一方通行区間を設け、滞留しないように誘導する。
- 観覧席（有料栈敷席、無料一般栈敷席）は設置しないこととし、来訪者の滞在時間の短縮を図る。
- HP やチラシにより、祭り当日はライブ映像配信を行う旨を周知し、自宅等での観覧による協力をお願いする。

(2) その他の感染対策

④ 飲食時の感染対策

<チェック項目>

- 上記(1) 感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策(食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等)の徹底の周知

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒アナウンス等による飲食時の感染対策の呼びかけ
- ⇒飲食専用エリアの設置及び当該エリアでの飲食の推奨
- ⇒飲食店に求められる感染対策等を踏まえた飲食専用エリアでの感染対策(身体的距離の確保、マスクを外して会話を行う者への個別注意等)

具体的な対策をお書きください

龍勢

- 休憩時間での飲食の際には、龍勢保存会が中心となり指示を行い、対面と会話を控え十分な距離をとるように促す
- 食事中に会話をする場合は、マスク等を着用する
- 飲酒は禁止する

観光客

- 会場内には、露天商を含む飲食販売店は出店しない
- 人通りの多い場所での飲食は控えるよう呼びかける
- 食事中に会話をする場合は、マスク等を着用するよう呼びかける
- HPや掲示物で、飲食時以外のマスクの着用を周知する
- スタッフが巡回して、大声を上げている方に対して注意する

⑤ イベント前の感染対策

<チェック項目>

- 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

⇨ 体制構築の上、検温・検査の実施

⇨ 発熱等の症状がある者の参加自粛を促すことができるキャンセルポリシーの整備

具体的な対策をお書きください

龍勢

- 龍勢製造等現場に従事する日及び祭りの10日前から健康管理・感染対策を徹底し、体調記録を管理する
- 同居人を含め発熱又は風邪等の症状がある者は、参加させないようにする(準備・片付けを含む)

⑥感染拡大防止策

<チェック項目>

- イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒感染者が発生した旨の参加者への迅速な周知
- ⇒COCOAや各地域の通知サービス(BluetoothやQRコードを用いたもの等)等による来場者情報の把握・管理手法の確立(アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討)
- ⇒チケット購入時の参加者の連絡先把握

具体的な対策をお書きください

観光客

- HPや掲示物で発熱又は風邪等の症状がある者は来訪できない旨を周知する
- HPや掲示物で「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」、「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」を活用するよう促す

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者やスタッフの感染対策

<チェック項目>

- 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における上記（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
- 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

⇒ 日常から行う出演者やスタッフの感染対策の実施

- 健康アプリの活用等による健康管理
- 出演者やスタッフの必要に応じた検査の実施
- 発熱等の症状がある者は出演・練習を控える
- 練習時やその前後の活動等における適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフの関係者間の適切な距離確保、換気等

⇒ 本番及びその前後の活動における出演者やスタッフの感染対策（舞台上等でのマスク着用の有無などに応じた適切な距離の確保、換気、飲食を伴う際の適切な感染対策等）の実施

⇒ ステージと観客席間の適切な距離の確保、出演者やスタッフ及び観客双方への感染対策への周知

具体的な対策をお書きください

龍勢

- 龍勢製造等現場に従事する日及び祭りの10日前から健康管理・感染対策を徹底し、体調記録を管理する
- 同居人を含め発熱又は風邪等の症状がある者は、参加させないようにする（準備・片付けを含む）
- 龍勢打ち上げ従事者専用の待機場所を確保する

※ 龍勢打ち上げ従事者は待機場所はありますが、十分な広さがないため打ち上げが終了すると一般の観光客と同様の行動をとることもあるため、観光客と同様の感染対策を実施している。

※ 提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン等も添付してください。

以降は、該当する場合のみ記載してください

3. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家：（所属、氏名）

所 属：医療コーディネータージャパン

職氏名：代表 堀 エリカ

主な助言内容：

- ・マスク着用や手指消毒など基本的対策の認識が1人1人違うため、その部分を徹底的に呼びかけて頂きたい。
※マスクは、必ず1回1回使い捨ての不織布マスクを着用（ウレタンマスクでは駄目）等。
- ・体調管理の記録は、開催の10日から1週間前からの本人及び同居人の体調管理が必要。
- ・会場でのリスクは、飛沫・マスク未着・大きな声・飲食である。
- ・当日の飛沫感染対策のためには飲酒は控えた方が良い（マスクを外す回数が増え声が大きくなるため）
- ・救護所は、①怪我・熱中症、②感染症でテントを分ける。
※感染症疑いの人には、医療診断用抗原検査キットで検査し、すぐに帰し、消毒する（ガウン・ゴーグル・救護マスク着用）（保健師が対応）
※熱中症の方にも、念のため抗原検査キットで検査実施。（医療従事者が対応）